

新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その22）

～JTBF旅行意識調査結果より～

2022年9月30日

公益財団法人日本交通公社
観光文化振興部・観光地域研究部

調査結果

- 1. コロナ禍における旅行意向 …… p.4
- 2. コロナ禍での旅行実施の判断 …… p.7
 - (1) 政府・自治体の要請への意識
 - (2) 国内旅行の実施に影響を及ぼす項目
 - (3) 海外旅行の実施条件
- 3. 今後の旅行で行きたい地域・あまり行きたくない地域 …… p.13

調査概要

調査名 : JTBF旅行意識調査
 調査対象 : 全国18～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出*）
 調査方法 : 郵送自記式調査*

*国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当てた。これにより、地域、性年代の偏りなく調査対象を抽出した。
 その上で郵送により調査票を送付し、回答者自身が記入を行う自記式により回答を得た。

■20年5月調査 調査期間：2020年5月20日～6月5日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	34	91	113	150	120	137	100	745	22	78	111	127	116	149	124	727	1,472
構成比（%）	2.3	6.2	7.7	10.2	8.2	9.3	6.8	50.6	1.5	5.3	7.5	8.6	7.9	10.1	8.4	49.4	100.0

■20年12月調査 調査期間：2020年11月26日～12月10日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	15	97	107	128	126	121	106	700	17	85	131	151	119	141	120	764	1,464
構成比（%）	1.0	6.6	7.3	8.7	8.6	8.3	7.2	47.8	1.2	5.8	8.9	10.3	8.1	9.6	8.2	52.2	100.0

■21年5月調査 調査期間：2021年5月26日～6月16日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	14	108	126	151	113	127	110	749	13	103	105	132	106	149	116	724	1,473
構成比（%）	1.0	7.3	8.6	10.3	7.7	8.6	7.5	50.8	0.9	7.0	7.1	9.0	7.2	10.1	7.9	49.2	100.0

■21年12月調査 調査期間：2021年11月24日～12月30日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	19	75	102	135	114	152	97	694	20	84	112	150	123	145	132	766	1,460
構成比（%）	1.3	5.1	7.0	9.2	7.8	10.4	6.6	47.5	1.4	5.8	7.7	10.3	8.4	9.9	9.0	52.5	100.0

■22年5月調査 調査期間：2022年5月13日～6月8日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	12	86	98	146	126	118	130	716	8	88	97	124	115	124	141	697	1,413
構成比（%）	0.8	6.1	6.9	10.3	8.9	8.4	9.2	50.7	0.6	6.2	6.9	8.8	8.1	8.8	10.0	49.3	100.0

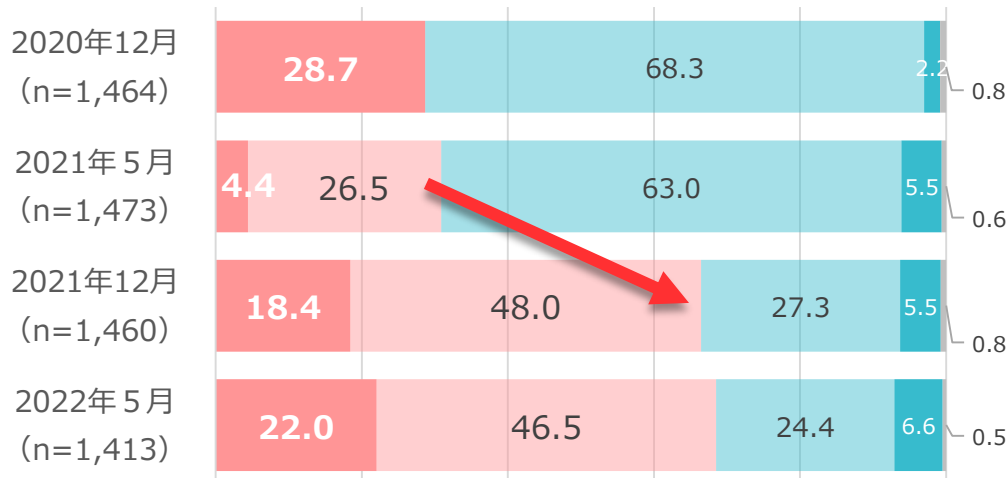
国内旅行意欲は、2021年末を転機として回復

- 国内旅行は、2020年12月、2021年5月には「行きたい」が3割弱でしたが、2021年12月に7割弱にまで大きく増加し、2022年5月においても引き続き7割弱となりました。さらに、「具体的に予定・検討している」は回を重ねるごとに増加しています。国内旅行意欲は、2021年12月以降、自粛から実施へと切り替わったと考えられます。
- 海外旅行でも、「行きたい（具体的に予定・検討+迷い）」が次第に高まっているものの、国内旅行と比べると低調です。また、「そもそも海外旅行には行きたくない」が上昇傾向にあり、コロナ禍の長期化により、海外旅行そのものに対する意識に影響が生じていないかを注視していく必要がありそうです。

Q. 現在のコロナ禍において、観光レクリエーション旅行へ行きたいと思いませんか。

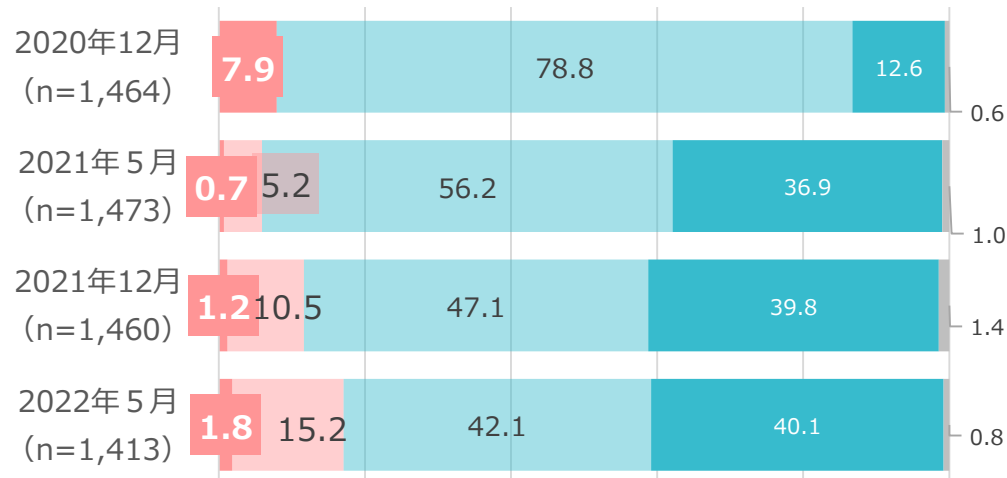
国内旅行

0% 20% 40% 60% 80% 100%



海外旅行

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 行きたい／行きたいと思っており、具体的に予定・検討している※

■ (新型コロナウイルスが流行しているので) 行きたくない

■ 無回答

■ 行きたいと思っているが、実施するか迷っている

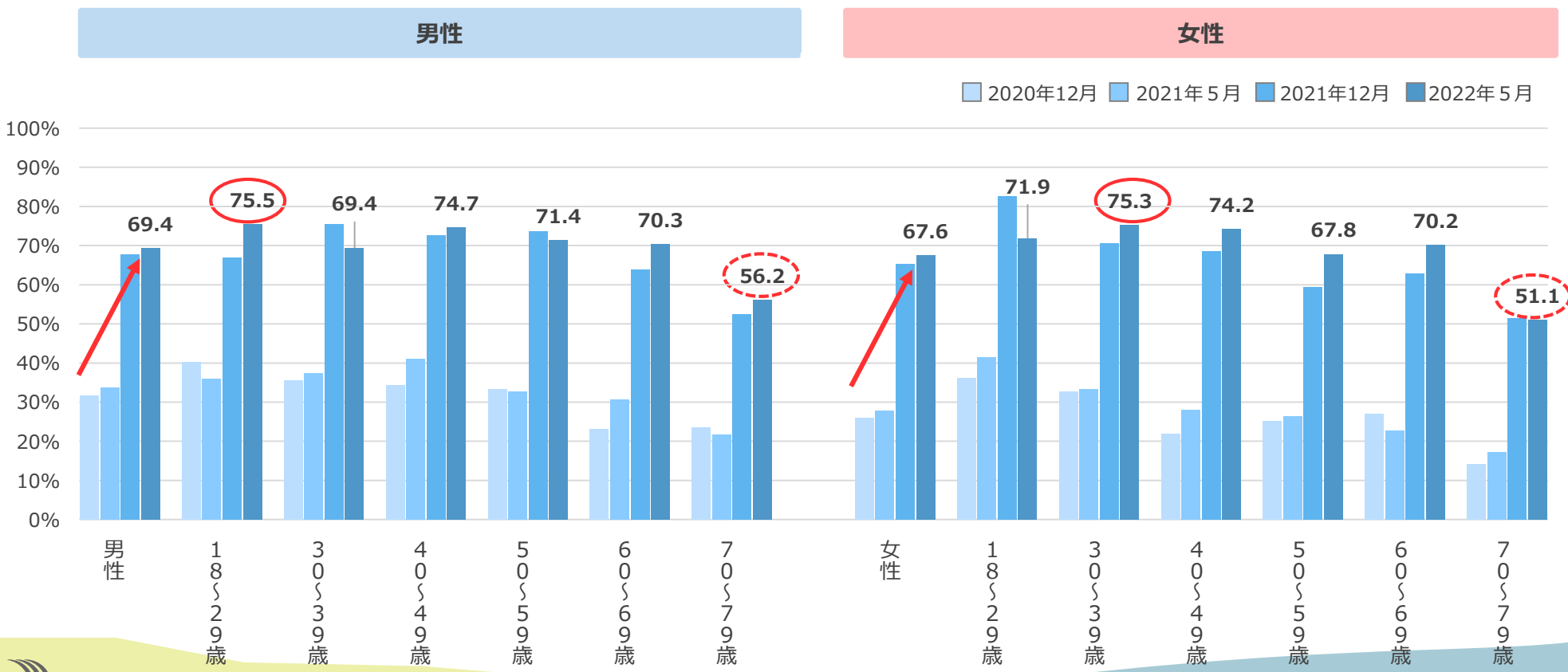
■ 新型コロナウイルスの流行に関係なく、そもそも旅行には行きたくない

※ 2020年12月は「行きたい」のみ、2021年5月以降は「行きたいと思っており、具体的に予定・検討している」と「行きたいと思っているが、実施するか迷っている」の2つの選択肢を設けて調査を行った。

コロナ禍での国内旅行意欲 いずれの性年代も2021年末に回復

- 現在のコロナ禍で、国内旅行へ「行きたい」と回答した割合は、全体の傾向と同様に、いずれの性年代においても2021年12月に「行きたい」が大きく増加し、旅行意欲が回復しています。これは、全ての調査回を通して旅行意向が低い70代であっても同様に、2021年12月時点で男女ともに5割を超えました。
- その後、2022年5月においては増加した層と減少した層に分けられ、20代、40代、60~70代の男性、30~60代の女性で増加しました。
- 直近の調査で、特に旅行意向が高いのは男性20代と女性30代で、いずれも7.5割を超えました。

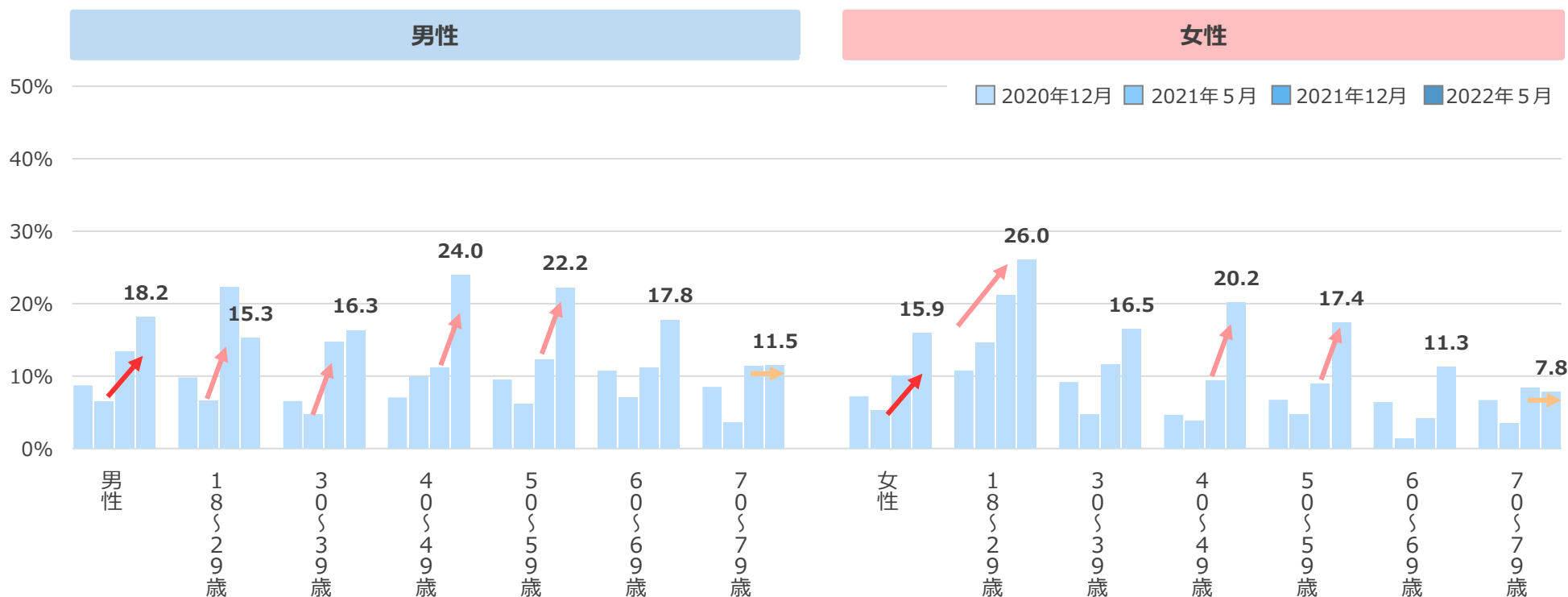
現在のコロナ禍において、国内の観光レクリエーション旅行へ「行きたい」と回答した割合 (性年代別)



コロナ禍での海外旅行意向 20代女性で一環して増加傾向

- 現在のコロナ禍で、海外旅行へ「行きたい」と回答した割合を性別に見ると、男女共に2021年末から増加しています。
- 性年代別に変化を見ると、20代女性は2020年12月以降、一環して増加しています。また、増加した時期は性年代ごとに異なり、20～30代男性は前回調査時、40～50代の男女は直近の調査で大きく増加しました。一方で、70代は男女いずれも前回調査からほぼ変化はみられませんでした。

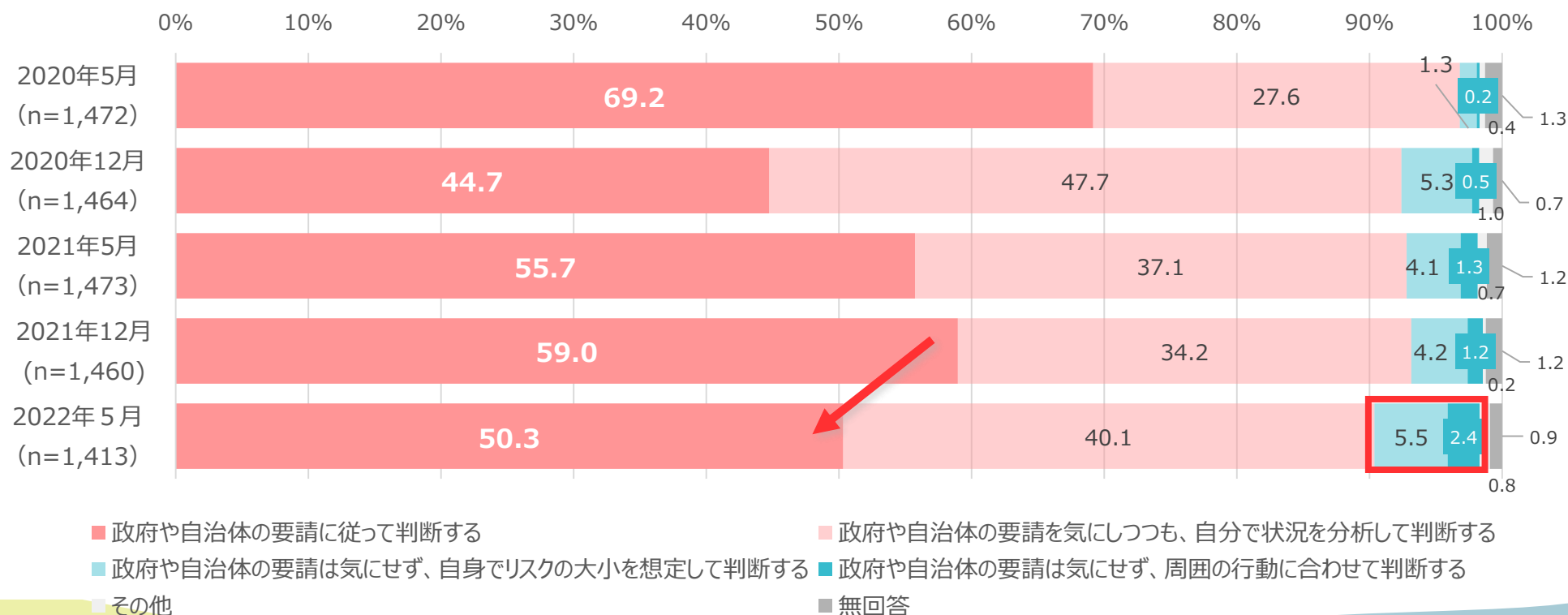
現在のコロナ禍において、海外の観光レクリエーション旅行へ「行きたい」と回答した割合（性年代別）



「自分で状況を分析して判断」が前回調査から増加し4割

- 旅行実施の判断に政府や自治体の要請を意識するかを尋ねると、「政府や自治体の要請に従って判断する」は前回調査から8.7pt減の50.3%となり、代わりに「政府や自治体の要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する」が5.9pt増の40.1%となりました。
- 「政府や自治体の要請は気にしない（自身でリスクの大小を想定して判断する+周囲の行動に合わせて判断する）」が7.9%と、これまでで最も高くなりました。

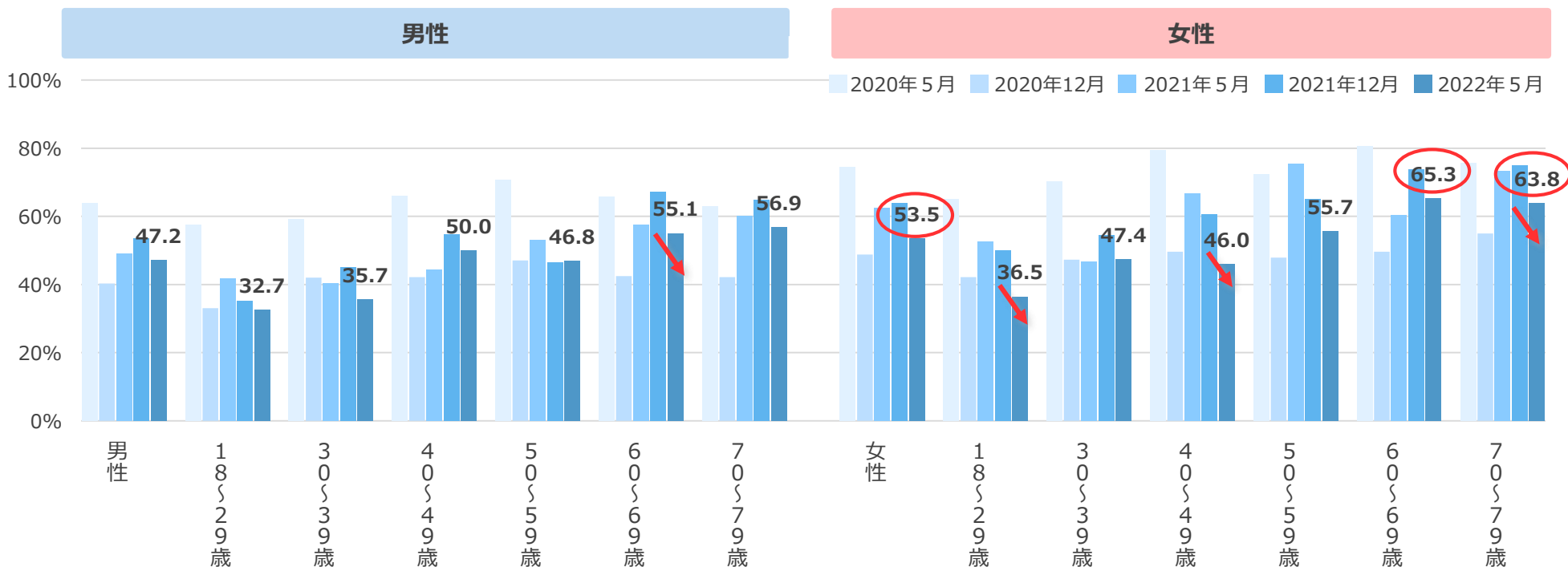
Q. 旅行を実施するかどうかを判断するときに、政府や自治体の要請（外出自粛、来訪自粛等）をどの程度意識しますか。



「政府や自治体の要請に従って判断する」ほとんどの性年代で減少

- 旅行実施の際に「政府や自治体の要請に従って判断する」と回答した割合は、男性では47.2%、女性では53.5%と、これまでの調査と同様に、女性の方がやや高くなりました。
- 2021年12月からの変化を見ると、50代男性を除く全ての性年代で減少し、特に60代男性、20代、40代、70代の女性で10pt以上減少しました。
- なお、60代以上の高齢層の女性は、依然として6割以上が「要請に従って判断」を選択しています。

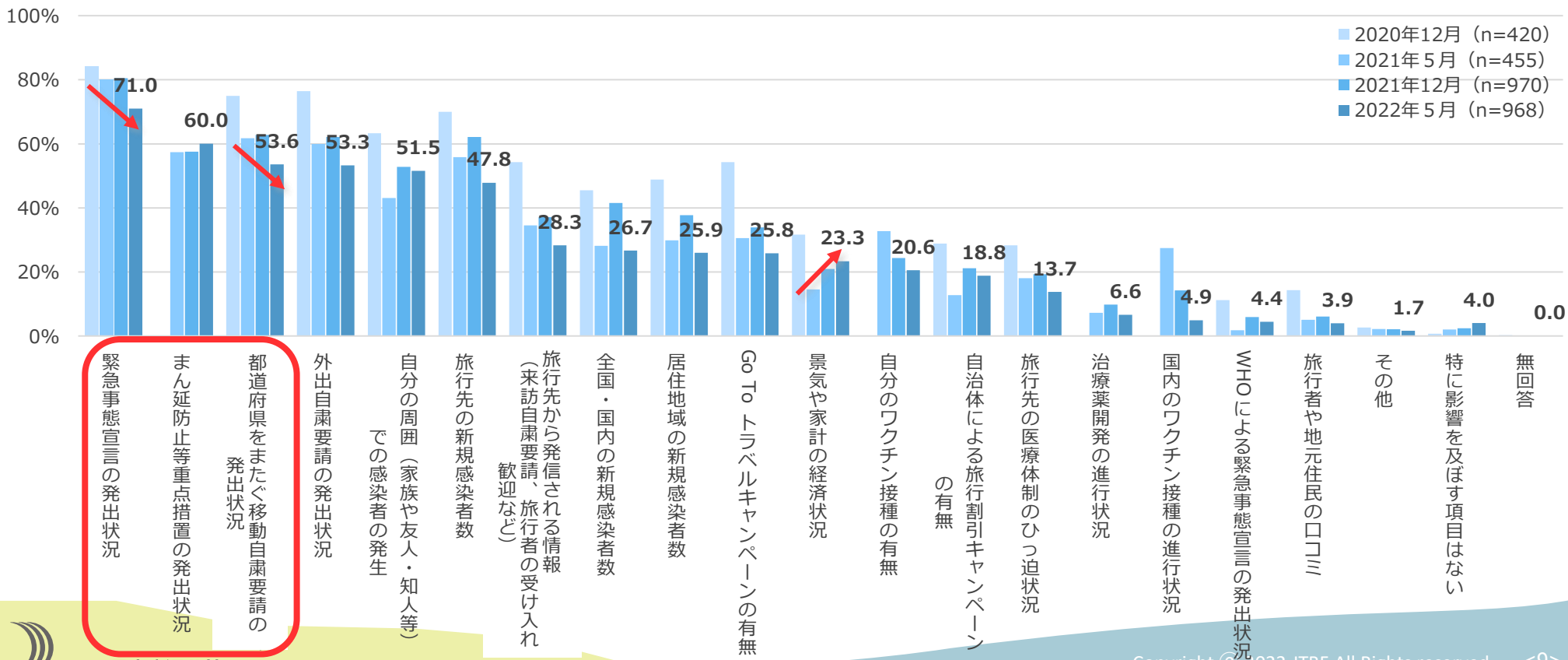
旅行実施の際に「政府や自治体の要請に従って判断する」と回答した割合 (性年代別)



国内旅行の実施判断への影響は、ほとんどの項目で減少

- 現在のコロナ禍で国内旅行を実施するかを判断するときに影響を及ぼす項目を尋ねると、「緊急事態宣言の発出状況」が最も多く71.0%、次いで「まん延防止等重点措置の発出状況（60.0%）」、「都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況（53.6%）」となり、政府や自治体から出される要請が上位を占めました。
- ほとんどの項目で前回調査から減少していることから、国内旅行実施のハードルが低くなってきていることがうかがえます。
- 一方で、「景気や家計の経済状況」は増加傾向にあり、コロナ禍の長期化による経済的な影響が示唆されました。

Q. 現在のコロナ禍において、国内の旅行を実施するかどうかを判断するときに影響を及ぼす項目は何ですか。
 (コロナ禍で国内旅行に「行きたい」人のみ)【複数回答】



国内旅行実施に影響する要素

20~30代「周囲での感染者の発生」 40代~60代「まん延防止等重点措置」

- 国内旅行の実施に影響を及ぼす項目を年代別にランキング形式で見ると、全ての年代で「緊急事態宣言の発出状況」が1位となり、特に40代では8割弱となりました。
- 20~30代の比較的若い年代では「自分の周囲での感染者の発生」、40~60代では「まん延防止等重点措置の発出状況」が2位となりました。また、60~70代では、「旅行先の新規感染者数」が5位以内に入るなど、国内旅行の実施に影響を与える要素は年代によって異なります。

国内旅行の実施に影響を及ぼす項目（年代別）【複数回答】

20代(n=143)		(%)
1位	緊急事態宣言の発出状況	69.9
2位	<u>自分の周囲(家族や友人・知人等)での感染者の発生</u>	56.6
3位	まん延防止等重点措置の発出状況	50.3
4位	外出自粛要請の発出状況	45.5
5位	都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況	43.4

30代(n=141)		(%)
1位	緊急事態宣言の発出状況	67.4
2位	<u>自分の周囲(家族や友人・知人等)での感染者の発生</u>	58.9
3位	まん延防止等重点措置の発出状況	56.7
4位	外出自粛要請の発出状況	48.9
5位	都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況	48.2

40代(n=201)		(%)
1位	緊急事態宣言の発出状況	77.6
2位	<u>まん延防止等重点措置の発出状況</u>	63.7
3位	外出自粛要請の発出状況	56.2
4位	自分の周囲(家族や友人・知人等)での感染者の発生	55.7
5位	都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況	53.2

50代(n=168)		(%)
1位	緊急事態宣言の発出状況	72.0
2位	<u>まん延防止等重点措置の発出状況</u>	64.9
3位	都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況	56.0
4位	自分の周囲(家族や友人・知人等)での感染者の発生	56.0
5位	外出自粛要請の発出状況	51.8

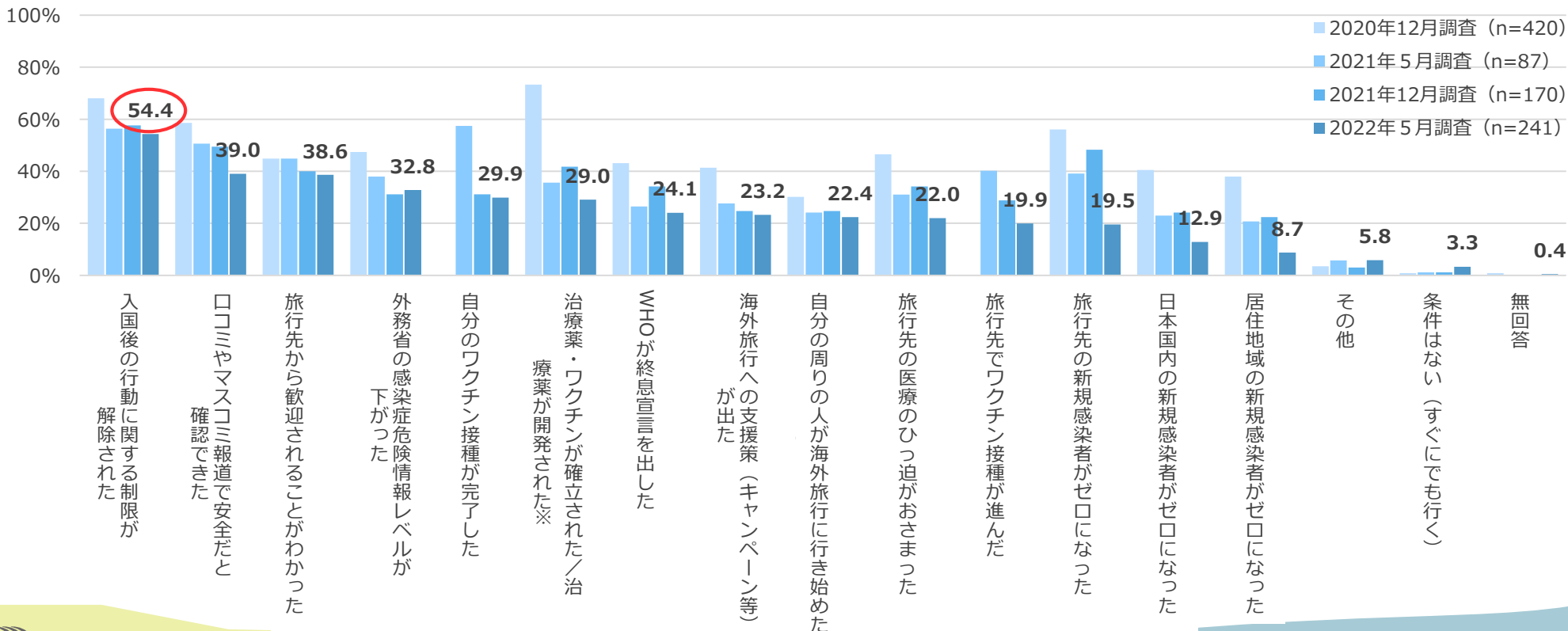
60代(n=170)		(%)
1位	緊急事態宣言の発出状況	70.0
2位	<u>まん延防止等重点措置の発出状況</u>	61.2
3位	<u>旅行先の新規感染者数</u>	55.9
4位	外出自粛要請の発出状況	54.7
5位	都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況	54.1

70代(n=145)		(%)
1位	緊急事態宣言の発出状況	66.2
	都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況	
3位	外出自粛要請の発出状況	61.4
4位	まん延防止等重点措置の発出状況	60.7
5位	<u>旅行先の新規感染者数</u>	55.9

海外旅行再開の条件 「入国後の行動制限の解除」が突出して高い

- 海外旅行再開の条件を尋ねると、「入国後の行動に関する制限が解除された」が突出して高く54.4%、次いで「口コミやマスコミ報道で安全だと確認できた（39.0%）」、「旅行先から歓迎されることがわかった（38.6%）」となりました。
- ほとんどの項目で前回調査から減少傾向にあり、国内旅行と同様に、海外旅行実施のハードルも低くなってきていることがうかがえます。

Q. 渡航制限や旅行先の入国制限が緩和された後、どのような条件が満たされれば海外の旅行を実施したいと思いますか。（コロナ禍で海外旅行に「行きたい」人のみ）【複数回答】



海外旅行再開の条件

20~30代「旅行先からの歓迎」 40代~「治療薬の開発」

- 海外旅行再開の条件を年代別にランキング形式で見ると、全ての年代で「入国後の行動に関する制限が解除された」が1位となり、特に50~60代で高く6割前後を占めました。
- 20~30代といった比較的若い年代では「旅行先から歓迎されることがわかった」、40~70代では「治療薬が開発された」が5位以内に入っており、年代により海外旅行再開の条件が異なります。

海外旅行再開の条件（年代別）【複数回答】

20代(n=92)		(%)
1位	ロコミやマスコミ報道で安全だと確認できた	48.9
	入国後の行動に関する制限が解除された	
3位	WHOが終息宣言を出した	37.0
4位	<u>旅行先から歓迎されることがわかった</u>	34.8
5位	旅行先の新規感染者がゼロになった	33.7

30代(n=88)		(%)
1位	入国後の行動に関する制限が解除された	45.5
2位	WHOが終息宣言を出した	39.8
3位	ロコミやマスコミ報道で安全だと確認できた	35.2
4位	<u>旅行先から歓迎されることがわかった</u>	34.1
5位	旅行先の新規感染者がゼロになった	33.0

40代(n=150)		(%)
1位	入国後の行動に関する制限が解除された	45.3
2位	<u>治療薬が開発された</u>	38.0
3位	WHOが終息宣言を出した	34.0
4位	ロコミやマスコミ報道で安全だと確認できた	32.0
5位	外務省の感染症危険情報レベルが下がった	30.0

50代(n=115)		(%)
1位	入国後の行動に関する制限が解除された	60.9
2位	<u>治療薬が開発された</u>	47.0
3位	WHOが終息宣言を出した	40.0
4位	ロコミやマスコミ報道で安全だと確認できた	36.5
5位	外務省の感染症危険情報レベルが下がった	33.0

60代(n=114)		(%)
1位	入国後の行動に関する制限が解除された	57.9
2位	ロコミやマスコミ報道で安全だと確認できた	51.8
3位	<u>治療薬が開発された</u>	50.9
4位	旅行先の新規感染者がゼロになった	37.7
5位	外務省の感染症危険情報レベルが下がった	36.8

70代(n=85)		(%)
1位	ロコミやマスコミ報道で安全だと確認できた	47.1
	<u>治療薬が開発された</u>	
	入国後の行動に関する制限が解除された	
4位	旅行先の新規感染者がゼロになった	44.7
5位	WHOが終息宣言を出した	40.0

今後行きたい地域「これまでに旅行したことのない地域」が増加

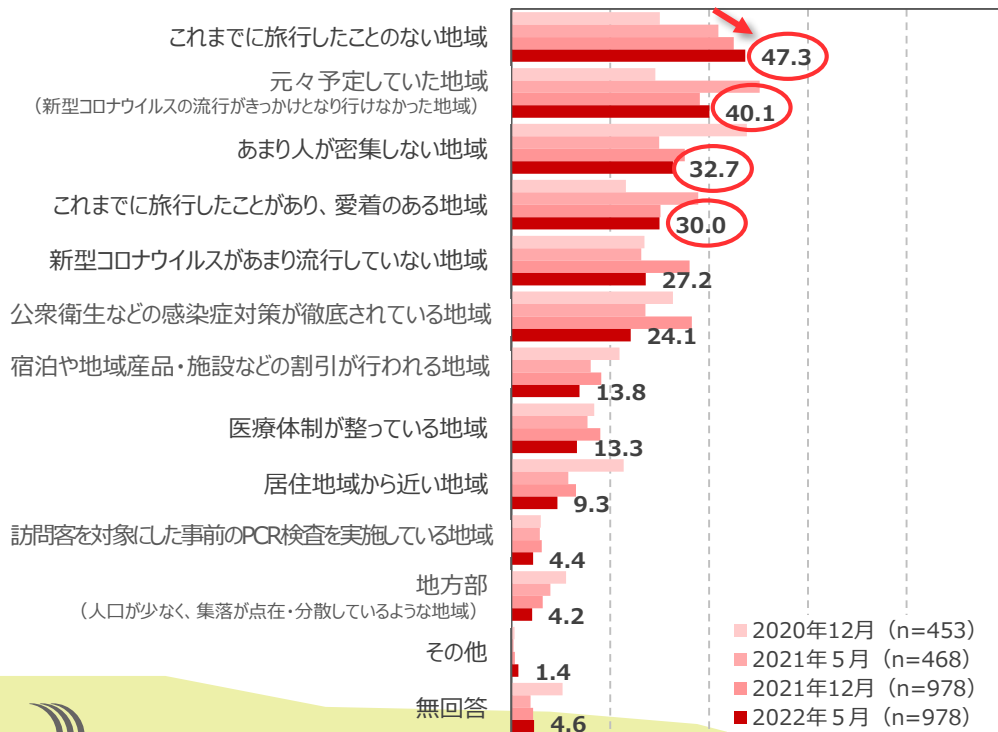
- 今後の旅行で行きたい地域は、「これまでに旅行したことのない地域」が47.3%と最も高く、また、回を重ねるごとに高くなっています。次いで「元々予定していた地域（40.1%）」、「あまり人が密集しない地域（32.7%）」、「これまでに旅行したことがあり、愛着のある地域（30.0%）」がそれぞれ3割を超えました。
- 今後の旅行であまり行きたくない地域は、「新型コロナによる感染者が多い地域」が65.0%と突出して高く、次いで「公衆衛生などの感染症対策が徹底されていない地域（49.1%）」、「人が密集しやすい地域（47.3%）」がそれぞれ5割弱となりました。

Q. 今後の旅行では、どのような地域に行きたい／あまり行きたくないと思いますか。

（コロナ禍で国内もしくは海外の旅行に「行きたい」人のみ）【複数回答】

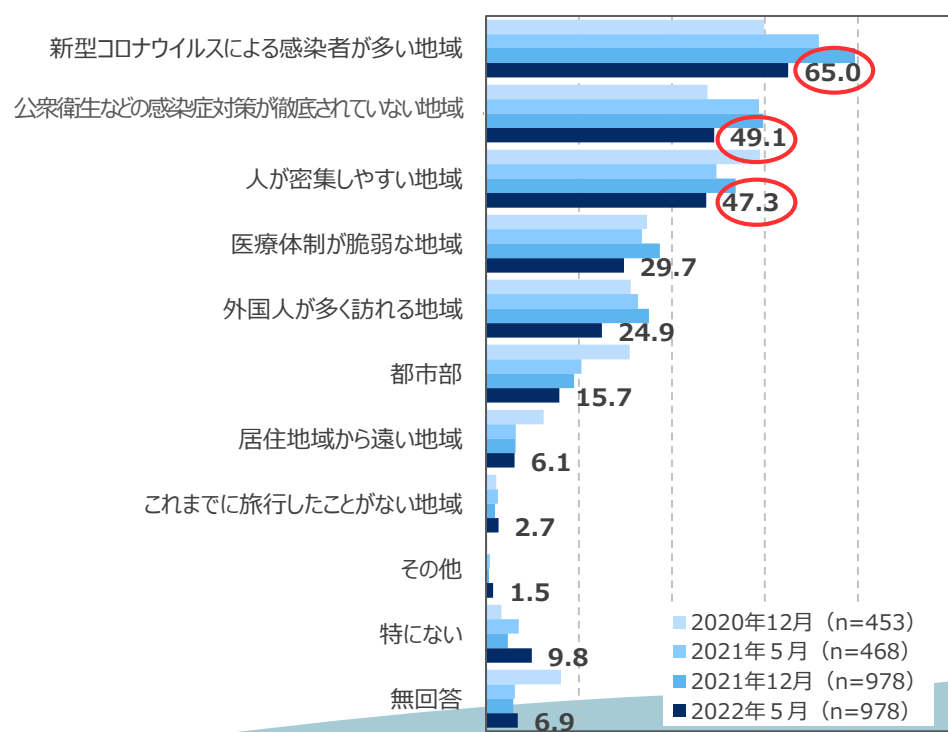
行きたい地域

0% 20% 40% 60% 80% 100%



あまり行きたくない地域

0% 20% 40% 60% 80% 100%



行きたい地域 20代は「これまでに旅行したことのない地域」を重視

- 今後の旅行で行きたい地域を年代別にランキング形式で見ると、全ての年代で「これまでに旅行したことのない地域」が1位となり、特に20代および50代で高く5割を超えました。
- 20～50代は「元々予定していた地域」が4割を超えて1位または2位、60～70代は「あまり人が密集しない地域」がそれぞれ4割弱を占めて2位となりました。

今後の旅行で行きたい地域（年代別）【複数回答】

20代(n=145)		(%)
1位	これまでに旅行したことのない地域	56.6
2位	元々予定していた地域	44.1
3位	あまり人が密集しない地域	32.4
4位	これまでに旅行したことがあり、愛着のある地域	24.1
5位	新型コロナウイルスがあまり流行していない地域	20.0

30代(n=141)		(%)
1位	元々予定していた地域	41.8
	これまでに旅行したことのない地域	
3位	あまり人が密集しない地域	34.0
4位	これまでに旅行したことがあり、愛着のある地域	33.3
5位	新型コロナウイルスがあまり流行していない地域	21.3

40代(n=204)		(%)
1位	これまでに旅行したことのない地域	46.1
2位	元々予定していた地域	42.6
3位	あまり人が密集しない地域	30.9
4位	新型コロナウイルスがあまり流行していない地域	29.9
5位	これまでに旅行したことがあり、愛着のある地域	29.4

50代(n=170)		(%)
1位	これまでに旅行したことのない地域	50.0
2位	元々予定していた地域	41.2
3位	これまでに旅行したことがあり、愛着のある地域	34.1
4位	新型コロナウイルスがあまり流行していない地域	25.9
5位	あまり人が密集しない地域	25.3

60代(n=171)		(%)
1位	これまでに旅行したことのない地域	46.8
2位	あまり人が密集しない地域	37.4
3位	元々予定していた地域	35.1
4位	公衆衛生などの感染症対策が徹底されている地域	31.6
5位	新型コロナウイルスがあまり流行していない地域	29.2

70代(n=147)		(%)
1位	これまでに旅行したことのない地域	42.9
2位	あまり人が密集しない地域	37.4
3位	これまでに旅行したことがあり、愛着のある地域	36.1
4位	元々予定していた地域	35.4
	新型コロナウイルスがあまり流行していない地域	

あまり行きたくない地域 60代以上は「感染者数」と「医療体制」を重視

- 今後の旅行であまり行きたくない地域を年代別にランキング形式で見ると、全ての年代で「新型コロナによる感染者が多い地域」が1位となり、特に60～70代で高く7割を超えました。
- 「医療体制が脆弱な地域」および「外国人が多く訪れる地域」は20代では2割以下にとどまりましたが、60～70代では3割弱～4割を占め、年代により意識に差が見られました。

今後の旅行であまり行きたくない地域（年代別）【複数回答】

20代(n=145)		(%)
1位	新型コロナウイルスによる感染者が多い地域	54.5
2位	公衆衛生などの感染症対策が徹底されていない地域	43.4
3位	人が密集しやすい地域	40.7
4位	医療体制が脆弱な地域	20.0
5位	外国人が多く訪れる地域	17.2

30代(n=141)		(%)
1位	新型コロナウイルスによる感染者が多い地域	58.2
2位	人が密集しやすい地域	48.2
3位	公衆衛生などの感染症対策が徹底されていない地域	41.8
4位	医療体制が脆弱な地域	28.4
5位	外国人が多く訪れる地域	24.1

40代(n=204)		(%)
1位	新型コロナウイルスによる感染者が多い地域	58.8
2位	公衆衛生などの感染症対策が徹底されていない地域	48.5
3位	人が密集しやすい地域	39.7
4位	医療体制が脆弱な地域	26.0
5位	外国人が多く訪れる地域	24.0

50代(n=170)		(%)
1位	新型コロナウイルスによる感染者が多い地域	68.8
2位	公衆衛生などの感染症対策が徹底されていない地域	47.1
3位	人が密集しやすい地域	44.1
4位	医療体制が脆弱な地域	28.2
5位	外国人が多く訪れる地域	22.4

60代(n=171)		(%)
1位	新型コロナウイルスによる感染者が多い地域	76.0
2位	公衆衛生などの感染症対策が徹底されていない地域	57.9
3位	人が密集しやすい地域	53.8
4位	<u>医療体制が脆弱な地域</u>	40.4
5位	<u>外国人が多く訪れる地域</u>	28.1

70代(n=147)		(%)
1位	新型コロナウイルスによる感染者が多い地域	73.5
2位	人が密集しやすい地域	59.9
3位	公衆衛生などの感染症対策が徹底されていない地域	54.4
4位	<u>医療体制が脆弱な地域</u>	34.7
5位	<u>外国人が多く訪れる地域</u>	34.0

新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その22）

～ JTBF旅行意識調査結果より ～

2022年9月30日発行

公益財団法人日本交通公社

観光文化振興部・観光地域研究部

安原 有紗 / 五木田 玲子 / 仲 七重

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>